「 アフターコロナのボランティア教育 」

ーオンライン・スクールボランティアサミットー第４回

開催のご案内・申込書

認定NPO法人
さわやか青少年センター

ＶＵＣＡの時代、コロナ禍を経て、学校では児童生徒のいじめ、不登校の増加、低い自己肯定感という大きな課題に直面しています。さわやか青少年センターでは、児童生徒の生きる力の礎と考えている「人間力」(「自助力」(自ら意欲をもって生きていこうとする力）と「共助力」(みんなで助け合って生きていこうとする力)) を育むことがその対策の１つになり得ると考えており、「人間力」を育む取り組みとしてボランティア教育が有効であると考えています。しかしながら、学校現場からは、新たな教科やＩＣＴへの対応などで、教師が児童生徒にボランティア教育まで指導する余裕はほとんどないのが実情であると伺っています。

そこで、今回はボランティア教育の専門家であり、さらには部活動改革を提唱したり、イエナプラン教育を実践したりしてこられた長沼 豊先生をお招きして、学校でのボランティア教育の取り組み方についてご講演をいただきます。すでにボランティア教育に取り組んでいる、また、これから始めたいと考えている教師の皆様には大変有益で、大きな励みになるお話です。質疑応答の時間もありますので、ぜひ、ご参加ください。

【開催日時とプログラム】

主　催：認定ＮＰＯ法人さわやか青少年センター（SSC）
開催日時：令和７年３月15日（土曜日）午前10時30分～12時00分
配　信：Zoom によるオンライン講演
定　員：１００名（参加費：無料）

開会挨拶：SSC 理事長　有馬正史（５分）
講　演：「アフターコロナのボランティア教育」(70 分)
（講　師）：長沼　豊先生（日本教育実践研究所所長）

教育実践をライフワークとし、現職に加え、日本ボランティア学習協会理事、日本シティズンシップ教育学会会長を担う。元学習院大学教授、前茂来学園大日向中学校校長。日本特別活動学会前会長、日本部活動学会前会長でもある。
著書は『人が集まるボランティア組織をどうつくるのか』(単著、ミネルヴァ書房)、『親子ではじめるボランティア』(編著、金子書房）など多数。

長沼　豊先生

SSCより：ふれあいボランティアパスポート集計等のデジタル化について 松山（12 分）
閉会挨拶：有馬（３分）

「オンライン・スクールボランティアサミットー第４回」参加申込書

【申込方法】次の３つの方法からお選びください。
〇右の QR コードから直接申込む。〇参加申込書をダウンロードして FAX 番号 03-6279-9256 に送る。
〇下記 SSCWeb サイトの TOP ページ「スクールボランティサミットの開催案内」から直接申込む。

学校・団体名		学校・団体 TEL	

役　職　名	氏　名	Ｅメールアドレス（正確にご記入ください。）	連絡用携帯 TEL

【申込後の流れ】
令和７年３月10日（月）までにお申込みの方には、３月11日（火）に Zoom ミーティングアドレス・ＩＤ・パスコードを一斉送信いたします。その後の申込みの方については、随時送信いたします。
当日は、開始時間５分前にはご入場ください。

【資　料】当日、講義開始前に参加者に配信予定。なお、ビデオの録画、画面のスクリーンショットはご遠慮願います。
【問い合わせ先】

さわやか青少年センター　認定NPO法人
〒167-0032
東京都杉並区天沼 3-7-3 荻窪法人会館３階
TEL：03-6279-9236　FAX：03-6279-9256
URL：http://www.ssc-npo.or.jp
Ｅメール：info@ssc-npo.or.jp　　担当　有馬正史